



「骨寺通信」

第106号

発行:本寺地区地域づくり推進協議会

岩手県一関市巖美町若神子241-2 骨寺村荘園交流館内

第17回 稲刈り会開催

今回で17回目となる「骨寺村荘園稲刈り会」が、9月26日(日)開催されました。コロナ禍での開催ということで、昨年、そして春のお田植えと同様に、米オーナーさんをはじめ一般の参加者はお招きせず、地元住民と関係機関の方々のみでの稲刈り作業となりました。

中尊寺大長寿院菅原光中ご住職、菅原光聴執事長による安全祈願、疫病退散の御祈禱を行って頂き、その後、参加者全員で遠西の圃場で、手刈りやバインダーを使つての刈り取り、ほんによ掛けまでの作業を、午前中の2時間で行いました。

また、3期12年に亘って市政を舵取りして頂いた勝部修市長がこの度勇退ということで、市長としての最後のご挨拶を頂いた中で、一市民としても引き続き世界遺産追加登録に向けて支援するという力強いお言葉を頂きました。

営農の継続、景観の保全が今後も大切であるとの思いを胸に、参加者全員が作業に気持ちの良い汗を流しました。



骨寺村荘園

第11回

収穫祭

11月3日(祝)、秋の恒例行事、骨寺村荘園「収穫祭」が、素晴らしい秋晴れのもと開催されました。会場の若神子亭には、朝から多くの来場者が訪れ、産直の百円均一や、荘園米・南部一郎かほちの販売コーナー、もち・芋の子汁の振舞いなど、秋の味覚を存分に堪能していました。また、巖美中学校校ふるさと隊の生徒さん11名がイベント運営に参加し、テント設置、着るみによるPRや、おにぎり作りなど、大活躍して頂きました。コロナ感染が落ち着く中、天候にも恵まれ、盛会裏に開催できたこと、来場者並びに運営に携わって頂いた方々に、感謝いたします。



「第Ⅳ期事業実施計画」策定に係るワークショップ



骨寺村荘園遺跡整備活用基本計画の、令和4年度から5年間の事業実施計画を策定するためのワークショップが、全3回の予定で開催されています。

地元住民や、大学生、中学生による、将来の骨寺村の有りたい姿を描く、貴重な機会であり、各回とも、参加者からは、積極的な意見がたくさん出されています。

秋季土水路整備実施
令和三年十一月二十日(土)

真湯ゲート11月5日閉鎖

国道342号の真湯ゲートが5日正午に閉鎖され、秋田県へのルートは、来年4月末まで、冬季通行止め期間となります。